

事業報告書

自 2023年4月1日
至 2024年3月31日

学校法人 長尾学園

長尾幼稚園

2023 年度事業報告書

1. 幼稚園の運営

所在地	大阪府枚方市長尾東町 1 丁目 48-23			
年度最終定員	315 名 [現員]	満 3 歳児	…	17 名
		3 歳児	…	52 名
		4 歳児	…	42 名
		5 歳児	…	68 名
	総園児数 (2024 年 3 月 27 日)	…		179 名

職員定数	理事長	1 名	園長	1 名
	教諭	13 名	乗務員	3 名 (委託乗務員 1 名)
	事務員	1 名	警備員	2 名
	講師	3 名 (英語・体育)		
	パート	12 名		
	嘱託医	3 名		

2023 年度事業期間 2023 年 4 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日

幼稚園教育要領に基づき、幼児期における適切な環境をあたえ、幼児一人一人の発達や遊びの連続性を考慮し、教育・保育が継続的に展開されるよう配慮するとともに、家庭や地域との連携も考慮するよう努めてきた。幼稚園の資質向上を目指し、幼稚園教諭の自己点検、自己評価、幼稚園評価等を行い、ホームページ等で広く公開を行った。また、子育て支援として時間外保育の時間延長、在園児保護者や地域未就園児保護者の保育相談や体験入園、園庭解放等を実施し、幼児教育の理解や育児軽減につながるよう努めた。また、虐待の早期発見等、関係機関との連携も行った。

2. 幼稚園教育理念

個々の自立支援 個々の自律支援 共育ち支援

3. 教育方針

- ① 健康な身体づくりを第 1 とし体力づくりに努力します。

② 人格形成の基礎づくりとして次の項目を掲げて、良い生活習慣を育成すると共に良い人間づくりをめざします。

- 自立心のある子ども
- 創造性豊かな子ども
- 協調性のある子ども
- 正しい判断が出来る子ども
- 人間性豊かな子ども

4. 教育目標

教育理念を念頭に、幼児一人一人の発達を踏まえ、適切な環境を通して遊びを中心とした教育・保育の展開、継続が行っていけるようにする。その一つの視点として、「科学する保育」の取り組みを行っていき、それらの活動を通し、学校教育法の目的に基づき5領域（健康・人間関係・環境・言葉・表現）が総合的に発達していくよう助成をはかり、明るく、たくましく、伸び伸びとした心の優しい子どもを育てます。

又、情操、体育、知育の調和のとれた教育環境を整え、心も体も、そして頭も健やかに育つよう努力したいと考えます。

5. 保育時間

教育課程に係る教育時間	午前9時	～	午後2時
時間外保育（仲良し組）	午前7時30分	～	9時
時間外保育（仲良し組）	午後2時	～	午後6時30分

保育担当者及び保育内容

- ・担当教諭を定め、園長は総括指揮を執ることとする。
- ・担当教諭については別紙職務分担表に記載する。
- ・保育内容については、教育要領、本園の理念と発達や学びの連続性及び幼稚園と家庭の連続性を考慮し、保育が展開されるよう教育課程を作成する。
- ・教育課程・食育計画・を基に各クラス年間指導計画・月案・週案などを立案する。
- ・個別支援が必要な幼児については個別支援計画（月案）を立案し、医療機関や関係機関などとも意見交換会を行い連携を図っていく。
- ・また、指導計画に沿っての年間行事計画も別紙に記載する。

6. 人材育成報告

職員全員が幼稚園の理念・教育方針を理解し、それぞれの職務を遂行できるよう常に自己研鑽を積むよう努力してきた。また、園内外の研修に積極的に参加し、職員の知識を広げ、研修の内容を他の職員に周知することで職員全体の専門性を高め、幼稚園教育を充実させるよう努めた。研修については、経験年数や個人の自己評価等を考慮し、体系的計画的に研修計画をたて実施した。

7. 園児数についての報告

近年、我が国の経済状況の変化から、少子高齢化や女性の社会進出が進み、子育てに対するニーズが保育所へと高まってきている。その一方で幼稚園の園児数は年々減少が目立ち、これまで以上の経営努力が求められてきた。研修を通し職員一人一人が教育・保育の質向上に務めてきたが、園児の大幅な増加には至らなかった。新園舎を最大限利用し、様々な宣伝広告を通して来年度の園児獲得に努力する。

8. 設備及び備品計画についての報告

- ① インターナショナルスクール用の玩具や備品の購入を行った。
- ② コーナー保育の充実に向け、絵本や玩具等の充実補充を行った。
- ③ 感染症対策対応の備品の購入を行った。
- ④ 園児募集、インターナショナルスクール園児募集、職員採用の宣伝広告を行った。

9. 退職者・産休育休者報告

2023年度は退職者が3名おり、2024年度に向け3名の職員採用を行った。

2024年度産休・育休予定者1名（徳田陽子）

2024年度復帰予定者2名（青山美雪、高柳真知子）

10. 資金について

資金については経常費補助金及び保育料で賄い、建て替えについては建て替え積立金等で賄うようにした。園舎建替え費用の内、250,000,000円を日本私立学校振興・共済事業団から融資を受けている為、2021年度から借入金の返済を行っている。

（別紙予算書参照）

11. 認定こども園について

当幼稚園では、認定こども園への移行について、理事会を通して議論していただき、2024度は現行のままの幼稚園として残ることを決め、大阪府に報告を行った。そのため、2024年度はこれまで通りの幼稚園として運営を行うが、2025年度から給付型の新制度幼稚園へ移行する方針で準備をしている。

12. 園舎建替え点検

2018年度の2月にもえぎ設計事務所と契約を結び、3月に園舎建替え工事の入札を行った。その結果、誠信建設株式会社に決定し、2019年度の4月より、工事が着工された。工期は2カ年計画で、竣工は2021年3月予定であったが、工期が約半年遅れた。その為、一期工事完成と一部建物の引渡しは2020年8月末となった。その後、二期工事が2021年8月末に完成し、外構工事も含め全ての工事が2022年3月に完了し新園舎が無事に完成した。1年が経過し、園舎の1年点検を行った結果、不具合や劣化のあった部分の修繕を行った。2023年度は、トイレ水道等の不具合ができたため、誠信建設に報告している。

13. 感染症の影響について

世界に多大な影響を与えた新型コロナウイルスにより、当幼稚園の運営も大きく変化したが、昨年に引き続き今年度はコロナの影響もなく通常通り運営を行うことが出来た。しかし、コロナ以外の感染症が増えたこともあり、学級閉鎖をおこなったクラスもあった。その為、感染症対策は今後も行っていく必要がある。